



山西小学校便り

再来週はオンラインによるテスト授業が予定されている学年があります。現在、職員会議も校内ですりモートです。



令和4年2月10日（木）no.44 文責：上田

3連休の過ごし方にご注意ください

今週、あらたな感染報告はありませんでした。また、兄弟姉妹を含む家族の体調不良等で登校できなかった児童を除きほとんどの児童が登校できています。しかし、依然、県内・村内では多くの新規感染者が確認されています。明日からの3連休、家族の一人一人が感染防止対策を講じていただくようお願いします。

今回は、NHKのニュース資料でオミクロン株のこれまでわかった特徴について振り返ってみます。特徴から見えてくる対策も考えられそうです。

まず、感染の急拡大についてです。全国の新規感染者数は、1週間の感染者数が前1週間の10倍となる急拡大でした。デルタ株の第5波は最大2.3倍だったことを考えると感染急拡大は驚きでした。

では、なぜこれほど急拡大したのかですが。一つは、ウイルスのもつ感染力により、感染させる相手がデルタ株より多いことです。そして、もう一つは感染してから次の人に感染させるまでの時間が短いことです。多くの人に短時間で感染を拡げています。

オミクロン株は、上気道と呼ばれる喉のあたりの細胞に感染しやすく変異したとみられています。口に近いところでウイルスが喉で増殖すれば、飛沫とともに口か出やすくなるわけです。さらに、感染しても無症状、あるいは鼻かぜのような症状で感染に気づかないこともあるようです。また、重症化しにくいとも言われますが、感染者の増加に伴い、重症者数は増えています。ワクチン未接種の10歳未満や10歳代の感染増加は、同居家族(特に、高齢者)にとっては心配だと思えます。

今後、オミクロン株の特徴がさらに解明されることで、行動制限の在り方も変わるかもしれませんが、外出を控えることは、現在取りうる対策であることには違いありません。3連休の過ごし方にはご注意ください。

